

知的障害やその周辺の難しさがある児童の 個別の指導計画の作成に向けた 基礎的研究

人間科学部
子ども教育学科
准教授
阪本 啓二



研究シーズの紹介

平成29年に特別支援学校の幼稚部教育要領や小学部・中学部の学習指導要領が改訂された。改訂により、対象となる児童生徒の理解がどのように変化をしたかについて検討をした。具体的には、本件では知的障害がある児童生徒を主な対象として、改訂後に発行された特別支援教育に関するテキストや特別支援学校をはじめとした教員への入門書をもと

に、どのように知的障がい記載されているかテキストマイニングし、キーワードやそのつながりについて検討をした。

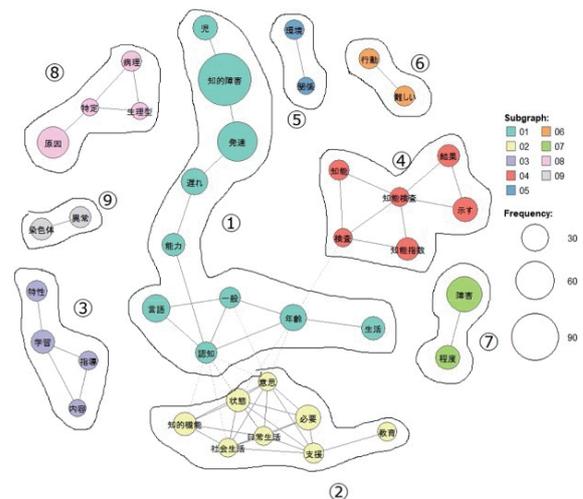


特別支援教育

- 知的障害児の心理・生理・病理を理解するうえで、知的機能や適応能力といった特徴語どうしの共起関係を確認することができます。

知的障害の特徴について記述した視点として【知的機能や適応能力】が挙げられ、その具体的な特性として【学習活動】や【対人関係などの環境】、【行動の難しさ】といった話題で説明されている。

知的障害の実態把握に関する視点としては、【知的障害の原因や特性】においてその状態像や影響が説明され、【知能検査】を通して特性の実態把握がなされること、や【障害や発達の程度】が見出されることが記述されている。



期待される活用シーン

- 特別な配慮を必要とする子どもへの理解を深めたい。知的障害にはどのような特性があるのかな



知的機能や適応能力の理解を入り口とすることでいいかな

- 特別な配慮を必要とする子どもへの理解を深めたい。知的障害を理解するにはどのように実態把握をすればいいかな



【知能検査】を通して特性の実態把握がなされ、【障害や発達の程度】の理解が深められる